

事業所番号

■ 入力欄

#	利用構成	サーバ名称	利用OS	CPUコア数	メモリサイズ	ディスク				冗長化の 手法
						システム領域	データ領域#1	データ領域#2	データ領域#3	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

■ 入力項目の説明

#	項目	選択肢	項目説明
1	利用構成	シングル構成	シングル構成・・・サーバを単体にて構成している場合に選択します。
		クラスタ構成	クラスタ構成・・・現用系・待機系等、サーバを複数台にて構成する場合に選択します。
2	サーバ名称	—	サーバ名称を指定します。
3	利用OS	—	利用するOSを入力してください。
4	CPUコア数	—	1コア単位でCPUコア数を入力してください。 (リソースの有効利用を目的として、稼働開始時点ではリソース見積によって計算された最低限のリソースで運用します。 稼働開始後にリソースの増強が必要と判断した場合は適宜対応する方針とします。)
5	メモリサイズ	—	1GB単位でメモリサイズを入力してください。 (リソースの有効利用を目的として、稼働開始時点ではリソース見積によって計算された最低限のリソースで運用します。 稼働開始後にリソースの増強が必要と判断した場合は適宜対応する方針とします。)
6	ディスク	—	ドライブレータ(C、Dドライブ等)とそのサイズを入力してください。 (リソースの有効利用を目的として、稼働開始時点ではリソース見積によって計算された最低限のリソースで運用します。 稼働開始後にリソースの増強が必要と判断した場合は適宜対応する方針とします。)
7	冗長化の手法	VMware HA	VMware HA・・・ESXiサーバに障害が発生した場合、その上で稼働している仮想マシンを他のESXiサーバ上で起動させる機能。(コールドリスタート)
		MSFC	MSFC・・・稼働系に障害が発生した場合、自動的に待機系に切り替え処理を継続する機能。
		上記以外の冗長化手法	上記以外の冗長化手法・・・「VMware HA」「MSFC」以外の機能にて冗長化を行う場合、その手法を記載願います。
		冗長化無し	冗長化なし・・・冗長化を行わない場合に指定します。